

北浦三育通信



August 9, 2006 VolumeV

「体が疲れても心が元気ってのはいいね」

7月30日(日)ウルルン滞在記という番組を見る機会がありました。タレントの”はな”がモロッコの遊牧民のテント生活を体験した様子が放映されました。ちょっとそこまでお昼のお弁当を届けてきてといわれて出かけた距離は片道徒歩約2時間。今の日本では考えられない感覚です。彼女が、滞在先の家族の仕事を手伝って毎日、相当な距離を歩き回っていました。この様子を見た番組コメンテーターの”泉谷しげる”の発した言葉が印象的でした。そのままの言葉ではありませんが、おおよそこんな内容でした。「人間てのは体が楽しようと心悩みいっぱいになっちゃうてる。でも体が疲れても心が元気ってのはいいね。体が疲れるってことはありがたい事だね。きっとみんな体の楽か心の楽かどっちかを選ぼうとするんだろうな。」

世界中の人が、肉体的な楽を手に入れようと便利さとスピードを目標に掲げて努力してきました。そして、そのおかげで素早く、待たずに、我慢しなくても何でも手に入り、いつでも用を済ませることができる便利な社会になったのです。しかし、その一方、心の方は、そのスピードについていけなくなって悲鳴をあげているようにも感じられます。人間と人が作り出す社会は、バランスが崩れるとその弱い所が真っ先に悲鳴を上げてしまうのかもしれない。8月6日第61回広島平和祈念式の「平和宣言」の冒頭、秋葉広島市長は「悪魔に魅入られ核兵器の奴隷と化した国の数はいや増し、人類は今、すべての国が奴隷となるか、すべての国が自由となるかの岐路に立たされています。」と述べました。この日キャンパス草刈りデーの充実感と心地よい疲労感の中でこの記事に触れ、「体が疲れても心が元気ってのはいいね」という単純で力強い言葉と重なりました。暑い夏、子供たちに疲れる体験をさせることも大切な平和へのメッセージなのかもしれません。



キャンパス草刈りデー 感謝！

「8月6日午前9時から北浦三育中学校キャンパス草刈りデーにご協力を」と保護者会会長から呼びか

けていただきましたところ約40名の保護者、OB、

在校生、教職員家族の参加があり、あっという間にきれいになりました。作業後、皆さんでバーベキューの昼食をとり、近くの温泉で汗を流し、楽しい交わりの時となりました。ご参加くださいました皆様に心よりお礼申し上げます。休み中の8月27日に、もう一度行う予定です。よろしくお願い致します。

2006年8月9日

校長 尾上 史郎